

ようこそ、「清々しい家」へ。

『木組みの空に雲をみつける家』

完成見学会のしおり

上棟の日、太さ1尺もの太鼓梁の上に、二重、三重に梁が掛かる2階の小屋組を見上げた時、ここがこの家を象徴する場所になる、と感じました。

京都の町家建築には、「準棟纂纂」(じゅんとうさんべき)と呼ぶ小屋組の技がありますが、組み上がったばかりの小屋組を目にし、その言葉が「棟に準ずる部分に、雲のように架かる木組み」を意味することを思い出しました。

高く重なる梁組を「雲」に見立てるとは、昔の人はじつに粋です。同時にそう例えたいくなるほど、技に自信があったのでしょうか。

この家のコンセプトは、こんな経緯から生まれました。

地元の杉材によるそびえる梁組の美しさ、棟梁の技の冴えをご覧いただきながら、澄み切った青空に雲が渡る様子を思い浮かべていただければ存外よろこびです。

建築工房 創 小山 進一郎

木組みの空に雲をみつける家
完成見学会

5/25^土・26^日

10:00 ▶ 17:00

会場 ▶ 石巻市元倉1丁目5-10

家づくりの概要と見どころ

1. 勾配屋根がいろんな表情を見せるL字の家

敷地環境から建物は南西に開けたL字型になっており、その方向からの外観はスケール感があり堂々として見えます。1階と2階屋根の勾配方向を変えることで、角度によって違った表情を見せるのも外観の特徴です。どうぞさまざまな方向からの眺めをお楽しみください。

2. 深呼吸が気持ちいい家

土台、柱、梁などの構造材は、すべて宮城県産の杉、ヒノキを使用しました。また居室の壁は漆喰仕上げにしており、無垢材のやさしい印象を際立たせます。見た目だけでなく、深呼吸すると木の家の心地良さを感じていただけるでしょう。

3. 家族が付かず離れず快適に暮らせる家

ご夫妻とご主人のお母様の3人と愛犬が暮らす住まいです。「だんらの間」は開放的のある西側に配し、ダイニングキッチンと続き間にしました。水回りなどの共有スペースを挟み、お母様の寝室になる「畳の間」を南側に配置。また2階にはご夫妻のリビング、寝室があります。大人3人が付かず離れず快適に過ごせるよう、だんらんとプライバシーを両立させたプランです。

清々しい家にしよう 創
株式会社 建築工房 創 sou

〒986-0805 石巻市大橋3丁目1番地7
TEL: 0225-92-7080 FAX: 0225-92-7081
E-MAIL: info@k-sou.com
<http://www.k-sou.com>

建築工房 創

検索